

目次

[令和3年～5年度報告書]

I. 総括研究報告

1. 医療専門職の実態把握に関する研究

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一
板橋 匠美 志満 直美 丸田 秀夫 森田 雅士

研究要旨	1
A. 研究目的	3
B. 研究方法	3
C. 研究結果	4
D. 考 察	6
E. 結 論	7
F. 健康危険情報	7
G. 研究発表	7
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	7
2. 実用新案登録	7
3. その他	7

(参考資料)

- 公益社団法人 日本診療放射線技師会 8
- 公益社団法人 臨床工学技士 20

目次

[令和3年度報告書] P61～

I. 総括研究報告

1. 医療専門職の実態把握に関する研究

小野 孝二

研究要旨	62
A. 研究目的	63
B. 研究方法	63
C. 研究結果	63
D. 考 察	63
E. 結 論	64
F. 健康危険情報	64
G. 研究発表	64
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	64
2. 実用新案登録	64
3. その他	64

II. 分担研究報告

2. 医療関係職種の実働人数把握のための推計式構築について

～医療機関における需給推計～

小野 孝二

研究要旨	65
A. 研究目的	65
B. 研究方法	65
C. 研究結果	66
D. 考 察	69
E. 結 論	69
F. 健康危険情報	69
G. 研究発表	69
H. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	69
2. 実用新案登録	69
3. その他	69

(参考資料)

- ①オープンデータを用いた画像検査数の将来推計・・・・・・・・・・70
- ②レセプト情報（NDB オープンデータを用いた画像検査件数の将来推計）・72
- ③需要推計で使用した診療行為コード一覧（診療放射線技師）・・・・・・・・75
- ④臨床検査技師数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究・・・・・・・・79
- ⑤需要推計で使用した診療行為コード一覧 （臨床検査技師）・・・・・・・・80
- ⑥臨床工学技士数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究・・・・・・・・120
- ⑦需要推計で使用した診療行為コード一覧（臨床工学技士）・・・・・・・・121
- ⑧言語聴覚士の推計 医療専門職の実態把握に関する研究・・・・・・・・122
- ⑨需要推計で使用した診療行為コード一覧（言語聴覚士）・・・・・・・・123
- ⑩視能訓練士数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究・・・・・・・・125
- ⑪需要推計で使用した診療行為コード一覧（視能訓練士）・・・・・・・・126

目次

[令和4年度報告書] P128～

I. 総括研究報告

1. 医療専門職の実態把握に関する研究

小野 孝二

研究要旨	129
A. 研究目的	130
B. 研究方法	134
C. 研究結果	134
D. 考察	134
E. 結論	135
F. 健康危険情報	135
G. 研究発表	
1. 論文発表	135
2. 学会発表	135
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	135
2. 実用新案登録	135
3. その他	135

(参考資料)

●公益社団法人 日本診療放射線技師会	136
●一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	141
●公益社団法人 臨床工学技士	153

II. 分担研究報告

2. 医療機関における医療専門職の将来の需給バランスの推計について

～医療機関における需給推計～

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一

研究要旨	158
A. 研究目的	159
B. 研究方法	159
C. 研究結果	161
D. 考察	173
E. 結論	173

A. 健康危険情報	173
B. 研究発表	
1. 論文発表	173
2. 学会発表	173
C. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	174
2. 実用新案登録	174
3. その他	174

目次

[5 年度報告書] P175～

I. 総合研究報告

1. 医療専門職の実態把握に関する研究

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一
板橋 匠美 志満 直実 丸田 秀夫

研究要旨	176
A. 研究目的	177
B. 研究方法	177
C. 研究結果	178
D. 考 察	179
E. 結 論	180
F. 健康危険情報	180
G. 研究発表	180
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	180
2. 実用新案登録	180
3. その他	180

II. 分担研究報告

2. タスクシフト/シェアを実現させるための具体的な方策とその効果

～診療放射線技師を例として～

小野 孝二 岡本 左和子 板橋 匠美

研究要旨	181
A. 研究目的	181
B. 研究方法	181
C. 研究結果	181
D. 考 察	181
E. 結 論	182
F. 健康危険情報	182
G. 研究発表	182

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	182
1. 特許取得	182
2. 実用新案登録	182
3. その他	182

3. タスクシェアを実現させるための具体的な方策とその効果

～熊本大学病院～

小野 孝二 岡本 左和子 板橋 匠美

研究要旨	183
A. 研究目的	184
B. 研究方法	184
C. 研究結果	184
D. 考 察	187
E. 結 論	187
F. 健康危険情報	187
G. 研究発表	187
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	188
2. 実用新案登録	188
3. その他	188

4. タスクシフト/シェアを実現させるための具体的な方策とその効果

～済生会川口総合病院～

小野 孝二 岡本 左和子 板橋 匠美

研究要旨	189
A. 研究目的	190
B. 研究方法	190
C. 研究結果	190
D. 考 察	192
E. 結 論	192
F. 健康危険情報	193
G. 研究発表	193
H. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	193

2. 実用新案登録	193
3. その他	193

(参考資料)

●CT 室チェックリスト (専門編)	194
●静脈注射 技術チェックリスト (放射線技師用)	197

5. 臨床検査技師業務の医療分野における需給予測と

タスク・シフト/シェアを実現させて医師の働き方改革を支える事例

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一 板橋 匠美 丸田 秀夫

研究要旨	199
A. 研究目的	200
B. 研究方法	201
C. 研究結果	201
D. 考 察	208
E. 結 論	209
F. 健康危険情報	210
G. 研究発表	
1. 論文発表	210
H. 知的財産の出願・登録状況 (予定含む)	
1. 特許取得	210
2. 実用新案登録	210
3. その他	210

(参考資料)

●造影超音波検査簡易マニュアル	211
●手順書 (静脈路の確保)	215

6. タスクシフト/シェアを実現させるための具体的な方策とその効果

臨床工学技士

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一 板橋 匠美

研究要旨	219
A. 研究目的	220

B. 研究方法	220
C. 研究結果	220
D. 考 察	224
E. 結 論	224
F. 健康危険情報	224
G. 研究発表	224
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	224
2. 実用新案登録	224
3. その他	224

7. 視能訓練士及び言語聴覚士における

医師の働き方改革を踏まえた職能団体として見据える方向性について

小野 孝二 今村 知明 岡本 左和子 西岡 祐一 板橋 匠美

研究要旨	225
A. 研究目的	226
B. 研究方法	226
C. 研究結果	226
D. 考 察	238
E. 結 論	239
F. 健康危険情報	239
G. 研究発表	239
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	239
2. 実用新案登録	239
3. その他	239

8. 米国におけるタスクシフト/シェアの担い手の現状

～臨床検査技師・臨床工学技士・視能訓練士を例に～

岡本 左和子 西岡 祐一 今村 知明 志満 直美

研究要旨	240
A.研究目的	241
B.研究方法	241
C.研究結果	241

D.考 察	245
E.結 論	245
F.健康危険情報	246
G.研究発表	246
H.知的財産権の出願・登録状況（予定含む）	
1.特許取得	246
2.実用新案登録	246
3.その他	246

[研究成果の刊行に関する一覧表]

論文	247
学会発表	247